

札幌市学校教育の具体的な取組
 <<全ての教育活動を貫く重点>> ◇子どもの声を聴く
 <<令和8年度の重点>>
 ◇AARサイクル ◇インクルーシブ教育システム
 ◇いじめ防止 ◇命を大切にす教育

基本方針

〇強さと優しさで笑顔を大切に

学ぶ力の育成

- ◎「課題探究的な学習」を取り入れた授業づくり
- ◎「わかる・できる・楽しい」笑顔のある授業づくり
 - ・「学校生活の中心は授業＝授業で子どもを育てる」
 - ・「わかった!」の笑顔、「できた!」の笑顔、「楽しい!!」の笑顔
- ◎本物の経験 体験や学びを「経験」に社会で生きて働く本物の経験に
- ◎校内研修、校内研究の充実
- ◎自信につながるきめ細かな指導
 - ・楽しく豊かな学び合いを生む教師の関わり
 - ・考えてみよう、言ってみよう、話し合ってみようという授業や、活動場面の設定
- ◎個に応じ、寄り添った指導
 - ・「型」ではなく、目の前の子どもを
- ◎ICT・1人1台端末の活用
 - ・ICTの特性・強みを生かした協動的な学びと個別最適な学び
- ◎専科指導の充実
- ◎特別支援教育の視点

子どもの声を聴く & 自主的な活動

まじめ・すなお 言われたことや決まったことは頑張れる



今日的課題への取組

- ◎札幌らしいCSの取組2年目
 - ・地域・保護者との連携
 - ・子どもの意見、考えを取り入れた取組
- ◎「幼保小連携」「小中一貫した教育」の取組
 - ・子どもの学び・子ども理解&生徒指導・教職員の連携
 - ・幼児教育との接続 ・12年間を見据えた育み
 - ・児童・生徒による意見交換と自主的活動
- ◎ICTを活用した教育の推進
 - ・ネットモラルを含む情報教育
- ◎一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育
 - ・「多様な学びの場」としての「つながる一む」
- ◎進路探求学習（キャリア教育）

子どもの声を聴く & 自主的な活動

令和8年度 札幌市立美園小学校の教育

未来に生きる 美園の子
 ○明るくたくましい子 ○仲よく力を合わせる子
 ○進んで考える子 ○心の豊かな子

豊かな心の育成

- ◎一人一人の居場所づくり ・一人一人の居場所のある学級、学年、学校、集団
- ◎「自分が大切にされている」と実感できる指導・支援
 - ・個の笑顔を大切にした支援…子どもに対して諦めない
 - ・自他を尊重する心 ・校内学びの支援機能の充実
- ◎明るい挨拶の溢れる学校 ・取組の継続(節目に)→充実、「慣れ」にならない
- ◎相互承認の感度を上げる ・自己承認 ・他者への承認 ・他者からの承認
- ◎規範意識と自律心の育成→自立心
 - ・廊下歩行、マナー、礼儀、言葉遣い、学校・学級の約束・きまり、等
- ◎特別活動の充実 ・なかよし活動 ・委員会活動 ・学級会活動
- ◎命を大切にす指導
- ◎道徳教育&「特別の教科 道徳」の授業の充実
- ◎不登校支援 ・情報の共有・関係機関、外部人材との連携
- ◎いじめ防止
 - ・いじめ防止対策委員会の充実 ・いじめを許さない教師の強さ

子どもの声を聴く & 自主的な活動

すなお・やさしい 助け合う・挨拶↑



令和8年度重点

もっと自分で もっとみんなで
 もっとチャレンジ! もっと挨拶! もっと笑顔!
 ~キーワード~ やってみよう!

教育活動のポイント

- ◎特別支援教育の視点
 - ・原点:「みんな違う」
 - 「子ども理解・情報共有」を「子どもの安心」につなげる教育的配慮
- ◎学び方と自分づくりにつながるプロセスの工夫…AARサイクル
- ◎カリキュラムマネジメント
 - ・持続可能な教育活動、事前指導と事後指導、子どもの姿・育ちで振り返り

令和8年度取組の重点

- ◎『子どもの声を聴く』学校&『自主的な活動』
 - ・「人との関わり」がある「体験活動」「運動の場」<<体験の充実>>
 - ・「異学年との関わり」<<温かい関係性づくり>>
 - ・子どもが「~したい」と言える場の設定・挑戦・経過を大切に
- ◎開校70周年の計画的な取組(2か年計画の2年目)
 ※開校70周年を祝うの会(仮称)、



学習指導要領「令和の日本型学校教育」
 ◇「生きる力」(資質や能力)の育成
 ◇「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
 ◇「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

目指す15歳の子ども像

分かる・できる・楽しいという思いをもち 関わり続ける子ども

健やかな体の育成

- ◎自分で考え最後までやり抜く強い心と笑顔を育む取組
 - ・「やってみよう」と子どもが思うことができる仕掛け
- ◎レジリエンスを築く・高める指導・支援
 - ・諦めずに最後までやり遂げなければならぬ場面、活動
- ◎進んで運動に親しむ場と指導の充実
 - ・授業以外の運動機会
 - ・三間と縄跳び ・外遊び、運動の推奨
- ◎基本的生活習慣の確立
 - ・生活リズムチェックの効果的活用
 - ・生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)づくりの推進(養護&栄養教諭、家庭との連携強化)
- ◎健康(生・性)に関する関心態度の育成
- ◎食育の推進
- ◎安全教育の充実
 - ・子ども自身の危機意識や安全に対する意識の向上

まじめ・すなお 言われたことや決まったことは頑張れる

子どもの声を聴く & 自主的な活動



信頼される学校 働き方・組織の連携

- ◎学び合い、支え合う職員集団
 - ・教職員が自ら学びをデザインする
 - ・新しいアイデアによる挑戦
- ◎組織的体制の強化…情報の共有・発信、報連相の充実
- ◎危機管理力の強化★迅速かつ丁寧
- ◎教育改善につながる働き方改革
 - ・「教職員の心身の健康」が「教育の質の向上」「子どもの育ち」につながる働き方
 - ・効率化と意識改革
- ◎組織連携によるカリキュラムマネジメント
 - ・「教育計画」と「学校評価」がつながる校務部会連携
 - ・短期での振り返り
 - やれること、修正すべきは直ぐに!
- ◎信頼できる大人としての教職員
 - ・社会人としてのTPO ・誠実さ

